

# 令和5年度 総務委員会 活動方針

副 会 長 宮本 昌尚  
専務理事 山口 泰一  
委 員 長 田城 敏史

## 1. 総会、理事会など諸会議の設営

組織全体の動きを把握しながら、理事会や各事業が円滑に運営できるように努める。

諸会議が、有意義かつ効率的な議論の場となるよう凡事徹底して準備、運営を行う。

インターネットを活用したオンライン会議の経験を活かし、ハイブリッド形式などの会議運営を今後も積極的に活用し、さらに新しい会議の形を模索していく。

## 2. 地区間交流助成事業の実施

本年度も引き続き地区間交流助成事業を実施する。徐々に県境を越えての活動が活発化してきていることから、多くの学校園にさらに積極的に活用していただけるように事業の拡大と活動事例等の広報活動を行っていく。

## 3. 第4回「全附P連みんながつながるオンライン文化祭2023」の運営

本事業の「コロナ禍の中で発表の機会を失っていた園児・児童・生徒に新たな発表の場を提供する」という本来の目的については、社会環境の変化からも一定の役割を果たし目的を達成したと考えられる。しかし、全附P連としての活動方針にある「附属学校の持つ独自性や創造性、社会的使命、存在意義、現状などをそれぞれの地域社会および全国的に発信することにより広く世の中の理解と支援を得る」ことに寄与することを目的とし、本事業の再構築を行う。

## 4. P T A表彰

他の学校の模範かつ先進的で優れた活動を行った団体を表彰する。多くの応募をいただけるよう周知、工夫を行っていく。

## 5. 対外組織との連携を図る

文部科学省をはじめとする関係省庁、関係団体との連携をより強固なものにし、積極的に連携、交流を図れるように、連絡調整に努める。また、「全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会」とも連携し、定期的に意見交換をする機会を準備する。

## 6. その他

特別委員会でのいじめ防止対策活動事業へ参画する。

運営企画会議、P T A研修会第14回全国大会へ参画する。